

平成27年度 試作品等顧客ニーズ評価・改良支援助成事業 申請に必要な書類

- ＜注意事項＞ ※ 両面印刷にしないでください（確定申告書の写しを除く）
 ※ ステープル留めやファイリングをせずに、クリップ留めにしてください。
 ※ 白黒でコピーを取った際でも判別できるものとしてください。
 ※ 採択の可否に関わらず、提出書類は返却しません。

No.	必要書類	部数	チェック
1	試作品等顧客ニーズ評価・改良支援助成事業 申請前確認リスト （指定様式）	1部	
2	試作品等顧客ニーズ評価・改良支援助成事業 申請書 （指定様式）	正1部 写3部	
3	説明資料 【両区分共通】 (1) 対象となる製品・試作品の詳細がわかる資料（仕様書、図面、写真等） (2) 対象となる製品等について、公社助成事業を利用して開発した場合は確定通知書、また、過去5年以内に公社の一定の評価を得た場合は当該事業の認定書や承認通知書等 (3) 上記のほか、対象となる製品等について、東京都の評価や特許、実用新案等（申請中は除く。）がある場合はその通知等の写し (4) 見積書の写し（原則2者以上、要押印） 1件あたり100万円（税抜）以上の委託・外注を行う場合（顧客ニーズ調査、改良、試験評価等） 【顧客ニーズ評価区分に申請する場合】 (5) 顧客ニーズ把握内容の詳細がわかる資料（調査企画書、出展する展示会の概要がわかる募集要項、アンケート様式 等） 【製品等改良区分に申請する場合】 (6) 顧客ニーズ把握結果の詳細がわかる資料（調査結果報告書、アンケート集計結果 等） (7) 把握したニーズに基づく改良計画の詳細がわかる資料（仕様書、図面等） (8) 見積書の写し（原則2者以上、要押印） 1件あたり税抜100万円以上の機械装置・工具器具を購入する場合（市販品の場合、価格表示のあるカタログでも可） (9) 外部専門家の経歴書 外部専門家の指導を受ける場合、指導を受ける技術内容等に係る経歴や実績がわかるもの	正1部 写3部	
4	3ヶ月以内に発行の 登記簿謄本（履歴事項全部証明書）【原本】 ※ 個人事業者の場合は開業届又は確定申告（青色申告に限る）の写し	1部	
5	社歴（経歴）書 〔会社概要でも可〕	1部	
6	都内税務署の受付印のある（※） 直近2期分の確定申告書の写し 法人：別表一～十六、決算報告書、勘定科目内訳明細書、法人事業概況説明書を含むすべて（創業2年未満の場合は直近1期分で可） 個人：すべての事業の収支内訳書又は青色申告決算書（貸借対照表を含む） ※ 電子申告を利用した場合は、税務署の受付印に代えて、 <u>税務署から送信された受付結果（受信通知）</u> を出力したものを併せてご提出下さい。	各期 1部	
7	直近の事業税等の納税証明書【原本】 (1) 法人の場合 都税事務所が発行する直近の「 法人事業税及び法人住民税の納税証明書 」 (2) 個人事業者で事業税が課税対象の方 都税事務所が発行する直近の「 個人事業税の納税証明書 」及び都内市区町村が発行する代表者の直近の「 住民税納税証明書 」 (3) 個人事業者で事業税が非課税の方 都内税務署が発行する代表者の「 所得税納税証明書（その3） 」及び都内市区町村が発行する「 住民税納税証明書 」	1部	
8	返信用封筒（長形3号のものに宛先の住所、担当者名を記入）	2部	

申請書作成のポイントと記入例

平成27年度 試作品等顧客ニーズ評価・改良支援助成事業 申請前確認リスト

◎ 提出前に下記の基本的要件などを確認してください。下記すべてを満たす必要があります。

確 認 事 項	ご回答	いいえ	公社 確認
申請形態が下記のいずれかに該当する法人または個人事業者である (該当する箇所に○を付けてください) (○) 製造業・その他業種：資本金 3億円以下 又は 従業員300人以下 () 卸売業：資本金 1億円以下 又は 従業員100人以下 () サービス業：資本金1億円以下 又は 従業員100人以下 () 小売業：資本金1億円以下 又は 従業員 50人以下	は い	いいえ	
大企業（中小企業者以外の者：中小企業投資育成(株)、投資事業有限責任組合を除く。以下同様とする。）が単独で発行済株式総数または出資総額の2分の1以上を所有又は出資していない（予定を含む）	は い	いいえ	
大企業が複数で発行済株式総数または出資総額の3分の2以上を所有又は出資していない	は い	いいえ	
役員総数の2分の1以上を大企業の役員又は職員が兼務していない	は い	いいえ	
その他大企業が実質的な経営に参画していない（予定を含む）	は い	いいえ	
東京都内に主たる事業所を持ち、事業を営んでいる	は い	いいえ	
法人の場合、東京都に登記している 個人事業者の場合、都内税務署へ開業届出をしている	は い	いいえ	
本事業の成果を活用し、引き続き東京都内において事業活動を実施する予定である	は い	いいえ	
同一テーマ・内容で公社・国・都道府県・区市町村等から助成を受けていない	は い	いいえ	
事業税等を滞納していない	は い	いいえ	
東京都及び公社に対する賃料・使用料等の債務の支払いが滞っていない	は い	いいえ	
過去に公社・国・都道府県・市区町村から助成を受け不正等の事故を起こしていない	は い	いいえ	
過去に公社から助成金の交付を受け、「企業化状況報告書」や「実施結果状況報告書」等を未提出でない	は い	いいえ	
助成金交付申請金額は、「顧客ニーズ評価」は150万円以下、「製品等改良」は50万円以上500万円以下である	は い	いいえ	
対象とする製品・試作品は、自社開発・所有かつ他社の特許等の侵害がないものである	は い	いいえ	
対象とする製品・試作品の改良を実施する場所は、助成事業における成果物が確認できる自社の事業所である	は い	いいえ	
親会社、子会社、グループ会社等が助成対象経費に含まれていない	は い	いいえ	
<法人の方のみ>申請書「申請者の概要」、「役員・株主名簿」は登記簿謄本の内容と同一である（法人）	は い	いいえ	
<法人の方のみ>申請書「役員・株主名簿」は税務署に提出した確定申告書の別表二と同一である	は い	いいえ	
「平成27年度試作品等顧客ニーズ評価・改良支援助成事業募集要項」の記載内容を全て確認した	は い	いいえ	

いずれかに○をつけてください

個人事業者の方で、該当しない項目は、はい・いいえ欄に斜線を記入してください

申請書の提出日を記入してください

印鑑登録のある代表者印を使用してください(申請書表紙と同じ印)

平成27年 7月 1日

事業者名：株式会社〇〇〇〇 （代表者職氏名）代表取締役 〇〇 〇〇 実印

実 施 計 画

1 申請者の概要

フリガナ	カブシキシャイマールマール		代表者職氏名		
事業者名	株式会社〇〇〇〇		代表取締役 〇〇 〇〇		
登記上 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇町〇-〇-〇		TEL	03-0000-0000	
			FAX	03-0000-0000	
連絡先 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇町〇-〇-〇		TEL	03-0000-0000	
			FAX	03-0000-0000	
連絡担当者	フリガナ	マルマル マルマル	所 属	総務部総務課	
	氏 名	口川 〇郎			
	E-Mail	aaaaaaa@aaaaaaa.com		役 職	技術部長(プロジェクトリーダー)
URL	http://www.aaaaaaa.com		メールによる情報提供(東京 ネットクラブマガジン)の配信希望	☒ 配信希望(無料) ☐ 配信不要	
事業開始	創業	平成17年 4月 1日	創業年数	(法人設立から) 10年 3ヶ月 (平成27年 7月 1日現在)	
	法人設立	平成17年 4月 1日			
資本金 ・ 出資金	3,000千円 (うち大企業からの出資 0千円)		役員数	常 勤 3人 非 常 勤 1人 計 4人	
			従業員数	正社員 40人 パート他 10人 計 50人	
業 種	金属製品製造業		主要製品	〇〇〇、△△△	
企業概要	主に工作機械や半導体製造装置用金属部品製造及び加工、各種機械装置、ユニットの組立を事業内容とする。				
事業所	種 別	日本標準産業分類による中分類を記入してください			
	本社	東京都〇〇区〇〇町〇-〇-〇			
	◆◆工場	東京都〇〇市〇〇町〇-〇-〇			
	営業所	東京都〇〇区〇〇町〇-〇-〇			
現有 所有 設備	設備の名称		数量	使用目的	設置場所
	〇〇〇機		3	〇〇〇加工	工場
	〇〇〇〇装置		1	〇〇	企業からの受注が全体の50%以上になるまで記入してください。記入欄が足りない場合は別紙でもかまいません
	〇〇測定器		1	〇〇	
直近 年間 売上 高内訳	主要取引先	所 在 地		売上高	取引年数
	株式会社□□□	東京都〇〇市〇〇町〇-〇		5,000千円	6年
	□□□株式会社	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇		3,000千円	5年
	有限会社□□□□	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		2,500千円	5年
	□□□□株式会社	〇〇府〇〇市〇〇町〇〇-〇		2,500千円	5年
	その他		4,500千円		
合 計				15,000千円	

直近決算期の売上高と同じになるようにしてください

2 役員・株主名簿

※ 枠内に書ききれない場合は「別紙参照」などとし、別紙（様式は自由）で説明してください。

平成27年 7月 1日現在

役員・株主 (注1)	氏 名	役職等 (注2)	現住所	持ち株 数(株)	持ち株 比率(%)	出資 (千円)	大企業に該 当する場合
役員・株主	〇〇〇〇	代表取締役	東京都〇〇市〇 〇町〇ー〇	200	40.0	1,200	
役員・株主	〇〇〇〇	取締役	東京都〇〇市〇 〇町〇ー〇	200	40.0	1,200	
役員・株主	〇〇〇〇	取締役	〇〇県〇〇市〇 〇町〇ー〇	50	10.0	300	
役員・株主	〇〇〇〇	監査役	〇〇県〇〇市〇 〇町〇ー〇	0	0	0	
役員・株主	(株)〇〇キャ ピタル			50	10.0	300	

申請書の提出日を記入
してください

- ① 履歴事項全部証明書に記載されている役員は、全員記入してください。
※ 監査役を忘れないように
- ② 株主は、持ち株比率の高い方から70%を超えるまでは必ず個別に記入してください。
その他の株主については、「その他」として一行にまとめてもかまいませんが、企業が株
主の場合は必ずすべてご記入ください。
- ③ 役員・株主欄には該当する箇所に必ず「〇」をつけて下さい。
- ④ 現状の役員又は株主が「履歴事項全部証明書」又は「確定申告書 別表二」と異なる場
合、「内容が異なる理由」欄に理由を記載して下さい。
- ⑤ 株主が大企業の場合、指定の欄に資本金と従業員数を記入してください。なお、ここで
いう「大企業」とは、募集要項P.3の「4 申請要件」にある「大企業」及び「大企業が
実質的に経営に参画している企業」のことです。

合 計				500	100.0	3,000	
※ 履歴事項全部証明書又は確定申告 書別表2の提出時と本記載内容が異 なる場合は、理由を記入。				平成27年6月30日の株主総会において役員交代があっ た。			

(注1) いずれか又は両方に〇をつけてください。

(注2) 役員の場合は役職を記入し、役員以外の株主は、申請者との関係（外注先等）と職業（個人
の場合）を記入すること。

(注3) 持ち株比率の合計欄は必ず「100%」にしてください。

※ 株主・出資者に投資会社やホールディングス会社が含まれる企業の方のみ下記も記入ください

①	(株)〇〇キャピタルの株主	筆頭株主: 〇〇銀行(株)(〇〇%)、第二位株主: (株)〇〇〇 (〇〇%)
②	の株主	筆頭株主: (%)、第二位株主: (%)

3 事業内容

(1) 事業計画の概要 ※対象製品に係る事業全体の計画趣旨や目的等を簡潔にご記入ください

平成25年12月試作品が完成した〇〇〇について、既存顧客等の評価を確認したところ、ニーズとのギャップがあったため、平成26年度の公社助成事業において、顧客ニーズの把握を行った。この結果、〇〇〇の××部分について・・・・となる改良が必要となったため、本助成事業を活用し、改良及び改良後の製品がその時点で顧客のニーズに適合しているか否かの検証を行う。改良後の製品が顧客ニーズに適合していた際は、量産の上、即□□□地域での市場投入を図り、ゆくゆくは欧米へも販路を拡大してく予定である。

(2) 事業計画の新規性（位置づけ）

対象製品に係る事業全体の計画において、下記で該当する項目がある場合は☑した上で、その内容を具体的にご記入ください。

☑ 新たな分野への進出（事業の多角化）

業種・分野	非鉄金属製造業
既存事業との関係	これまでの取引先等から弊社の取り扱い製品の非鉄金属製品についての問い合わせが増えている。弊社の技術を活かし、これまでの取引先及びこれまで取引がなかった企業からの発注が見込める。
新規性・発展性等	弊社製品と同等の製品を製造する企業は〇〇社程度存在するが、非鉄金属を素材とする製品については、まだない。試作開発段階において、性能検査を行ったところ、耐久性等の向上や・・・・など、さまざまな分野への活用が期待できる。国内においても・・・・が、海外においては・・・・や・・・・地域への進出が込まれ、・・・・という点で都内産業全体への波及効果も期待できる。

☑ 既存事業とは異なる分野への事業転換

業種・分野	非鉄金属製造業
既存事業との関係	国内需要があるため、継続するが、5～6年で国内も××へ切り替えていく。
新規性・発展性等	〇〇業界においては、急速に金属から××への転換が進んでいるが、国内は依然として金属での製造が8割を超えている。今後、海外参入を目指すには、即××への転換を図る必要があり、国内でも優位となる。△△や□□の製造においても××への転換は有効であり、本事業をきっかけとして、××への転換を進めていく予定である。

☑ 新たに海外市場へ進出

進出予定の国・地域	□□□地域
上記市場の状況	〇〇製品は、数年前まで同国内の独占市場であったが、徐々に欧米が参入を始め、最近ではアジアからの廉価なものが入り始めている。
これまでの海外における実績	自社◎◎製品の△△地域参入においては、欧米・アジアの参入が始まっていたものの、細かなニーズに対応した品質で他国企業を上回る受注を獲得できた。
新規性・発展性等	

□ その他（新規性がある場合は具体的にお書きください）

--

各項目ごとの記入例です。該当する項目のみご記入ください。

(3) 助成事業の対象とする製品等について ※改良前の試作品・既存製品についてご記入ください

区 分	☐ 試作品 ☒ 既存製品 ※ どちらかに ☒ を記入		
名 称	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
完成時期	平成25年12月 ※ 改良前の製品・試作品の完成時期		
開発経緯	創業から金属製品一筋であったが、ここ2～3年くらいで非鉄金属製品のニーズが多く寄せられ、平成24年度に公社助成事業を活用し、非鉄金属による〇〇〇の試作品開発を行ったところである。		
仕様・規格	サイズ：・・・・、重量：・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
機能・用途	1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ・・・・・・・・・・・・・・・・		
独自性・先進性	1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
産業財産権等 (該当に ☒)	☐ 保 有 → ☐ 特許権、 ☐ 実用新案権、 ☐ 意匠権、 ☐ 商標権 ☒ 出 願 中 → ☒ 特許権、 ☐ 実用新案権、 ☐ 意匠権、 ☐ 商標権 ☐ 出願予定 → ☐ 特許権、 ☐ 実用新案権、 ☐ 意匠権、 ☐ 商標権 ☐ 購入利用 → ☐ 特許権、 ☐ 実用新案権、 ☐ 意匠権、 ☐ 商標権		
単価／販売 ※既存製品の場合のみ	〇〇〇, 〇〇〇円 (税抜) / 平成27年 3月販売開始		
販促活動実績 ※既存製品の場合のみ	要望のあった既存顧客への営業及び毎年3月開催の〇〇〇展への出展、業界紙△△新聞への広告掲載などを行っている。		
直近5年間の 売上状況 ※既存製品の場合のみ	年度	数 量 (単位 :)	金 額 (税抜、単位 : 円)
	27	3	〇〇〇〇, 〇〇〇円
	26	1	〇〇〇, 〇〇〇円
			円
			円
			円
そ の 他 (該当に ☒)	☒ 公社の助成事業を利用したものである (助成事業名 : 平成24年度新製品・新技術開発助成事業、平成26年度試作品等顧客ニーズ評価・改良支援事業 (試作品等顧客ニーズ評価)) ☒ 公社又は東京都の事業の支援対象又は一定の評価を得ている (事業名 : 平成26年度ニューマーケット開拓し支援事業) ☐ その他、国や業界団体等から支援を受けたものである (具体的内容) ※ 該当がある場合は、根拠資料 (助成金確定通知書等) を添付		

(4) 事業の必要性 ※ 事前調査の内容を記入してください。

ア 市場動向

市場に係る規模、傾向、特性、現状、将来性等について、客観的な数値等を使い、ご記入ください。

イ 事前調査結果

調査手法	☐ 文献調査 ☒ アンケート調査 ☐ ヒアリング調査 ☐ その他 ()
調査期間	平成26年4月～平成26年6月
調査対象	・□□□地域で開催する△△△展示会の来場者30社
調査項目	・ 形状・サイズ ・ ××機能 ・ 不足している部分 ・ 希望価格 調査対象は、地域や業種、年代など、今後ターゲットとする顧客の属性、数量をご記入ください
調査結果 (概要)	〇〇〇の××部分について・・・・となる改良が必要となった(詳細は別添の説明資料参照)
調査会社 (外注の場合)	企業名：◎◎リサーチ株式会社 所在地：東京都〇〇区〇〇町〇ー〇ー〇

※ 必要に応じて枠を追加して記入してください。

※ 詳細な調査結果がある場合は、別途資料を添付してください。

ウ 競合製品の状況

製品名	◇◇◇◇◇◇	価格	200,000円(税抜)
製造・販売者	◇◇◇◇株式会社	販売開始	平成23年10月
特徴・評判	1 2 3		
自社製品との比較	◇◇◇◇◇◇には、自社〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇とは・・・・の点で類似しているが、自社のほうが・・・・の点で優位性がある。 また、・・・・の点では・・・業界において自社製品のシェアが〇〇%と優位性がある。 ただ、△△△地域においては、◇◇◇◇(株)製品のシェアが高く、よりきめ細かなニーズに合うよう改良を加え、くい込みたい。		

※ 必要に応じて枠を追加し、記入してください。

エ 事前調査等により明らかになった課題

前記調査により〇〇〇の形状が・・・・であり、サイズも・・・・だと
の回答が多く、××機能についても・・・・であるという回答がいくつかあった。
現状の製品では、・・・・であるため、改良が必要である。
また、□□□地域へ参入するためには、現地で主流の☆☆に合わせる必要がある。
よって、×××が・・・・となる改良が必要である。

(5) 申請事業の企画内容

ア 顧客ニーズ評価に係る計画 ※「顧客ニーズ評価」区分に申請する場合は、記入必須です。

調査内容	☒ 展示会出展 → ☐ アンケート ☒ ヒアリング ☒ 委託・外注調査 → ☐ アンケート ☒ ヒアリング ☐ 文献調査 ☐ その他 () ☐ その他 ()
目的・ねらい	改良品の完成後、把握した顧客ニーズにあった改良品となっているか、完成時点での顧客ニーズとあっているか、そのまま市場投入が可能かを把握するため、□□□地域の〇〇業界では最も大きな〇〇展に出展し、有望顧客からの評価を取得する。 あわせて、同地域の△△△業の業界団体会員〇〇社に対するヒアリング調査を行う。
調査対象	〇〇展に来場する〇〇業界の有望顧客10社程度 □□□地域の△△△業の業界団体会員〇〇社
調査概要	- 形状・サイズ ××機能 - 不足している部分 - 希望価格 - その他

※ 必要に応じて枠を追加し、記入してください。

※ 助成対象とする場合、下記①・②の該当する欄に記入してください。

① 展示会出展による顧客ニーズ把握 計 1 回出展 (国内 回、海外 1 回)

展示会名称	〇〇展	種 別	国内 ・ 海外
開催日程	平成29年3月5日～平成29年3月7日	主催者	〇〇業界連合会
会場名(所在地)	□□□コンベンションセンター (□□□地域〇〇〇市××)		
当該展示会 選定理由	□□□地域の〇〇業界では最大の展示会であり、改良品完成後の想定顧客が多数来場する見込みがある		
調査対象	〇〇業界の有望顧客10社程度		
調査手法	個別ヒアリング		
調査項目	- 形状・サイズ ××機能 - 不足している部分 - 希望価格 - その他		

※ 出展要項・募集要項等、概要がわかる資料を添付

※ 複数の展示会に出展する場合は、枠を追加してください

② 委託・外注による顧客ニーズ把握

発注内容 (調査内容)	・□□□地域の△△△業の業界団体会員〇〇社に対するヒアリング調査 □□□地域の△△△業の業界団体会員企業〇〇社の製造担当者を個別ヒアリングし、・・・・・・について、・・・・・・の視点から調査・分析を行う。			
委託・外注で実施する理由	□□□地域については、これまで自社での取引等がなく、自社で行うのは困難であるため、同地域及び調査業務に実績のあるところへの委託が最善と考える。			
契約先	名 称	◎◎リサーチ株式会社	代表者	◎◎ ◎◎
	所在地	東京都〇〇区〇〇町〇番地	電 話	03-8888-8888
	グループ企業等ではない → はい ・ いいえ (どちらかに○)			
選定理由	能 力	新製品開発、市場実験、広告効果測定に係る訪問調査、パネル調査、インターネット調査、モニター調査を得意とする。 海外全般を主な事業対象としているが、特に□□□地域を中心とする〇〇〇エリアに強い。		
	実 績	・□□□地域における〇×に関する実態調査(平成××年×月) ・〇〇〇エリアの△△△業界の市場動向(平成××年××月) ・△△△業界に関するインターネット意識調査(平成×年×月)		
	その他	本事業の対象製品の開発段階における予備調査や、弊社の他製品についての国内ニーズや海外進出に係る調査を委託した実績があり、弊社の体制や技術等についても精通している。		
契約期間	平成28年 9月 1日 ～ 平成28年11月30日			
契約金額／支払方法	2,160,000円(税込) / 前払い 後払い 分割払い			
備 考	(2者以上の見積書徴取ができない場合の理由 他)			

※ 税抜100万円以上の契約については、2者以上の見積書(写し)を添付

※ 複数契約の場合は、枠を追加してください

イ 製品等改良に係る計画 ※「製品等改良」区分に申請する場合は、記入必須です。

① 達成目標 (改良前後の対象製品等の比較、確認書類)

改良 <u>前</u> の仕様等	改良 <u>後</u> の仕様等【達成目標】
(改良内容の主要項目に係る現時点での仕様・機能等について、数値等で具体的に示してください) (例) サイズ:・・・・・・ 重 量:・・・・・・ 材 質:・・・・・・ 処理スピード 〇〇以上/時 耐久温度 〇〇度以上 強 度:・・・・・・以上 など	(改良後の完成品の仕様・機能等について、数値等で具体的に示してください) (例) サイズ:・・・・・・ 重 量:・・・・・・ 材 質:・・・・・・ 処理スピード ××以上/時 耐久温度 ××度以上 強 度:・・・・・・以上 など
【目標達成を証明する提出物】(裏付けとなる書類・データ等をご記入ください) (例) ・完成品の写真、図面、設計書、仕様書 ・試験機関の分析結果、評価書 ・完成品の取扱説明書	

※ 事業完了後の検査で、目標が達成が確認できない場合は、助成金が交付されません。

※ ソフトウェア、アプリの場合、原則ソースコードの提出が必要です。

② 改良内容の詳細

(仕様や機能等を向上させるために行う具体的な内容、使用する技術、改良後の製品の利便性、優位性等についてご記入ください。別紙による説明がある場合、本欄は概要の記入でもかまいません。)

改良内容の詳細について、下記を参考にご記入ください

- ① 把握した顧客ニーズとの整合性、妥当性
- ② 利用素材や技術等の新規性、特殊性
- ③ アピールポイント

※ 必要に応じて説明資料を添付してください。

③ 改良にあたっての課題とその解決方法

課 題	△△機能を・・・・とするには、□□□の加工について、・・・・する必要があり、自社の技術では対応が不可能
解決主体	(独) ○○産業技術センター
解決期限	第1改良試作品完成(平成28年10月末日予定)まで
解決方法	(独) ○○産業技術センターが有する□□□加工の技術指導を受けることにより、・・・・となり、・・・・が可能となる。

④ 活用する産業財産権

種 類 等	☐ 特許権 ☐ 実用新案権 ☐ 意匠権 ☐ 商標権 (許可等の番号)
権 利 者	☐ 自社保有 ☐ 他者保有 () ※ 他者保有の場合 ☐ 承認済み ☐ 調整中 ☐ 今後調整
内 容	
活用方法	

⑤ 機械装置・工具器具購入計画書

改良を行う際に必要な機械装置・工具器具の購入のうち、税抜100万円以上の物件について記載してください。また、記入したものについて、原則2者以上の見積書(写し)を添付。

品名・品番	ABC01-D			
使用用途	〇〇〇の△△部分の××加工			
選定理由	性能	、.....、.....		
	その他			
購入先	企業名	有限会社××	代表者	×× ××
	所在地	東京都〇〇市〇〇町〇-〇-〇	電話	00-0000-1111
	グループ企業等ではない → はい ・ いいえ (どちらかに○)			
納品・支払	平成27年12月25日 納品 (平成28年 1月31日支払予定)			
契約金額／支払方法	2,160,000円(税込) / 前払い 後払い 分割払い			
備考	自社が提示する仕様に合った特注品を製造・納品させるため、秘密保持のため、発注予定の1者のみの見積書を添付する			

⑥ 改良に係る委託・外注計画書

助成対象とするすべての内容について記入してください。なお、税抜100万円以上の契約については2者以上の見積書(写し)、外部専門家の指導を受ける場合は経歴書を添付。

契約内容	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の改良設計			
委託・外注による理由	今回の改良に類似した〇〇や××等、非鉄金属類の設計においての実績が多く、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇については、本企業が特許を有している。			
契約先	名称	〇×設計株式会社	代表者	×× ××
	所在地	東京都〇〇市〇〇町〇-〇-〇	電話	03-3333-3333
	グループ企業等ではない → はい ・ いいえ (どちらかに○)			
選定理由	能力	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の特許		
	実績	・ 自社◎◎◎の試作開発設計 ・ (競合他社) □□株式会社の××設計		
	その他			
契約期間	平成27年10月15日 ~ 平成27年12月10日			
契約金額／支払方法	1,620,000円(税込) / 前払い 後払い 分割払い			
備考	(2者以上の見積書徴取ができない場合の理由 他)			

契約内容	改良品の□□□加工に係る技術指導の受け入れ			
委託・外注 による理由	□□□加工の技術を有する唯一の研究機関及び研究者であるため			
契約先	名 称	(独) ○○産業技術センター	代表者	△□ ★★
	所 在 地	東京都○○区○○町○ー○	電 話	03-2222-9999
	グループ企業等ではない → はい ・ いいえ (どちらかに○)			
選定理由	能 力	□□□加工技術において、**氏は第一人者であり、各種実績がある		
	実 績	「○○における□□加工技術の可能性」(平成×年×月○○出版) 「□□加工技術の○○に係る研究」(平成○年○月学会報告)		
	そ の 他			
契約期間	平成27年10月15日 ～ 平成28年10月31日			
契約金額／ 支払方法	540,000円(税込) / 前払い 後払い 分割払い			
備 考	(2者以上の見積書徴取ができない場合の理由 他)			

契約内容	改良品に係る○○の試験・評価			
委託・外注 による理由	○○の試験が可能な都内唯一の試験機関であり、外部試験機関による公正かつ正確な評価の取得が可能であるため			
契約先	名 称	※※研究センター	代表者	□□ △△
	所 在 地	東京都○○区○○町○ー○ー○	電 話	03-5555-5555
	グループ企業等ではない → はい ・ いいえ (どちらかに○)			
選定理由	能 力	・ ○○の研究に関する第一人者である××氏が在籍しており、試験評価においても・・・・・・であり、定評がある。 ・ ○○の試験評価を行う都内唯一の試験研究機関		
	実 績			
	そ の 他	・ 日頃から同センターの技術指導・試験を利用している		
契約期間	平成28年5月1日～15日、平成29年5月1日～15日<2回>			
契約金額／ 支払方法	432,000円(税込) / 前払い 後払い 分割払い			
備 考	(2者以上の見積書徴取ができない場合の理由 他) ○○試験は、関東では同センターしか試験機器がないため、1社のみのお見積書を提出			

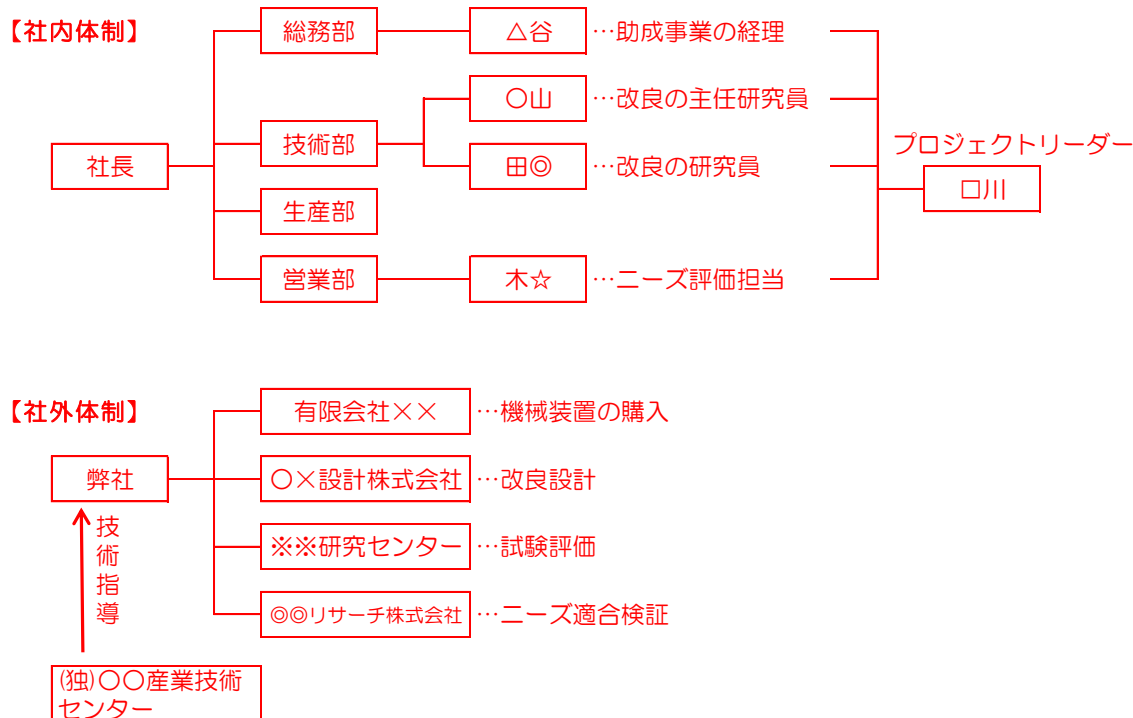
⑦ 改良の実施場所 ※ 原則、都内にある自社施設です

実施場所 の 名 称	自社 ◆◆工場		
所 在 地	東京都〇〇市〇〇町〇ー〇ー〇		
従業員数	15名 (パート10人含む)	面積	500㎡
最 寄 り の 交 通 機 関	〇〇〇〇 線 ×××× 駅 北 口 下車 徒歩 〇〇 分 バス 行き 停留所 下車 徒歩 分		

※ 2ヶ所以上ある場合、表を追加し、主たるものから順にすべてご記入ください

⑧ 実施体制及び役割分担

(実施に係る社内体制、他企業等との連携体制、役割分担等。)



⑨ 技術的能力、研究開発実績等

a 申請者（企業又は個人事業者）

(実施にあたり必要となる技術的能力、研究開発実績 等)

会社（個人事業者）として、対象製品の開発や改良に直接又は関連する技術や資格、認証取得等の実績など、申請事業を円滑に遂行できると考えられる根拠がありましたら記入してください

b 改良に係る主な担当者

所属・氏名	技術開発部 ○山 ×夫
専門分野	金属の〇〇加工 他
経歴・実績	<経歴> 平成15年 3月 ○〇工業大学××学科卒業 19年 3月 同 大学大学院博士課程修了 20年 4月 入社 23年 7月 ○〇〇の開発企画に主任研究員として関与 25年12月 ○〇〇試作品完成 <その他実績> ・×××の企画・開発 ・△△の企画開発 他

(6) 実施スケジュール ※「顧客ニーズ評価」区分、「製品等改良」区分併記

取組内容	平成 27 年 10 月	年 11 月	年 12 月	28 年 1 月	年 2 月	年 3 月	年 4 月	年 5 月	年 6 月	年 7 月	年 8 月	年 9 月	年 10 月	年 11 月	29 年 12 月	年 1 月	年 2 月	年 3 月	年 4 月	年 5 月	年 6 月
改良設計																					
ニーズに基づく改良設計図作成	●	●																			
改良①																					
設計図面に基づく改良			●	●	●	●	●														
試験・評価①																					
改良品の性能評価								●													
改良②																					
試験・評価に基づく本格改良								●	●	●											
ニーズ適合確認①																					
顧客ニーズ調査										●	●	●									
改良③																					
ニーズに基づく調整															●	●	●	●			
ニーズ適合確認②																					
展示会出展																		●			
改良④																					
改良品の仕上げ																		●	●		
試験・評価②																					
改良品の性能評価																				●	
事業完了																					●

注) 取組項目の欄に内容を記入し、その実施期間を横線（始期と終期を●で表示。例：●—●）で示してください。

4 本事業終了後の事業展開について

※「顧客ニーズ評価」区分は（２）、（３）記入不要

（１） 今後の事業展開

改良品完成後の事業展開（量産、海外進出、新たな販路開拓等）について、下記視点から（２）の根拠となるよう記入してください。

- ① スケジュール
- ② 量産及び営業体制（組織・人員・設備投資）
- ③ 資金調達計画
- ④ 販路開拓計画（ターゲット、時期、手段 等）
- ⑤ その他（認証や特許取得、業務提携 等）

（２） 年度別売上予測

（単位：千円）

	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度	平成３２年度	平成３３年度
事業展開概要	量産開始 国内販売中心	量産拡大 海外展開開始	海外販路拡大	海外販路拡大	海外拠点整備
売 上 高	15,500	19,500	25,500	30,000	37,000
うち本事業分	500	3,000	5,000	8,000	13,000
売 上 原 価	7,750	9,750	12,750	15,000	18,500
うち本事業分	250	1,500	2,500	4,000	6,500
販売費及び 一般管理費	6,000	6,000	7,000	7,500	8,000
うち本事業分	1,000	1,000	1,500	2,000	2,000
経 常 利 益	1,750	3,750	5,750	7,500	10,500
うち本事業分	△750	500	1,000	2,000	4,500
算定根拠	6月が事業完了であり、量産及び販路開拓がメイン	量産体制が軌道に乗り、国内及び□□□地域からの受注増傾向	前年同様であるが、□□□地域でのシェアの過半数を占める	欧米への販路拡大を図り、さらに受注増傾向	世界でのシェア上位に

（３） 売上以外に期待できる効果

【地域産業】

○ 同じエリア内の企業の技術を活用するとともに、エリア内の別の複数企業とともに、同じ□□□地域に共同で参入することでより効果が上がり、雇用拡大を含む地域産業の振興に貢献できる。

【都市課題】

○ 本製品は、□□□地域向けのものであるが、本製品の製造技術は、××業界の○○においても活用できるものであり、**環境の改善に資するものである。

【その他】

5 資金計画

助成対象期間の全体経費を記入してください

展示会等参加費の上限は75万円です

顧客ニーズ調査費の上限は75万円です

(単位：円)

(1) 支出額内訳

経費区分		助成事業に要する経費	助成対象経費	助成金交付額 助成対象経費の1/3以内 (千円未満切り捨て)
顧客ニーズ評価	ア 展示会等参加費	648,000	600,000	300,000
	イ 顧客ニーズ調査費	810,000	750,000	375,000
	計	1,458,000	1,350,000	675,000
製品等改良	ウ 原材料・副資材費	702,000	650,000	325,000
	エ 機械装置・工具器具費	2,808,000	2,600,000	1,300,000
	オ 委託・外注費	2,592,000	2,400,000	1,200,000
	計	6,102,000	5,650,000	2,825,000
合 計		7,560,000	7,000,000	3,500,000

(2) 資金調達内訳

(単位：円)

経費区分	資金調達額	調達先	進捗状況等
自己資金	5,000,000		金額を一致させてください
銀行借入金	2,560,000	〇〇信用金庫	内諾あり
役員借入金			
その他			
合 計	7,560,000		

(3) 支出額内訳

ア 顧客ニーズ評価

消費税は8%で計算してください

① 展示会等参加費

区分	展示会名称		単価 (税抜) A	小間数 B	助成事業に要する経費 A × B + 消費税	助成対象経費 A × B	申込・支払先
出展小間料	〇〇展		300,000	2	648,000	600,000	〇〇業界連合会
	小 計				648,000	600,000	
区分	展示会名称 (略称可)	内 容	単価 (税抜) A	数量 B	助成事業に要する経費 A × B + 消費税	助成対象経費 A × B	契約先
資材費	〇〇展	展示台(リース)	20,000	5	108,000	100,000	〇〇業界連合会
	〇〇展	装飾費	500,000	1	540,000	500,000	(有)×××
	〇〇展	展示パネル製作	20,000	5	108,000	100,000	(有)×××
	〇〇展	電気工事・電気料金	50,000	1	54,000	50,000	〇×電気工業(株)
	小 計				810,000	750,000	
合 計				1,458,000	1,350,000		

② 顧客ニーズ調査費

内 容	単価 (税抜) A	数量 B	助成事業に要する経費 A × B + 消費税	助成対象経費 A × B	契約先
□□□地域の△△△業界ヒアリング調査	2,000,000	1	2,160,000	2,000,000	◎◎リサーチ (株)
合 計			2,160,000	2,000,000	

消費税は8%で計算してください

イ 製品等改良

① 原材料・副資材費

(単位：円)

品 名	仕様等	単価 (税抜) A	数量 B	助成事業に要する経費 A × B + 消費税	助成対象経費 A × B	契約先
〇〇〇材	材質・・・、 厚さ〇〇mm	50,000	10	540,000	500,000	(有) 〇〇
△△溶剤	〇〇ml	30,000	5	162,000	150,000	(有) 〇〇
合 計				702,000	650,000	

② 機械装置・工具器具費

※ 税抜100万円以上の物件は「3(5)イ⑤ 機械装置・工具器具購入計画書」に記入してください

(単位：円)

品 名	仕様等	単価 (税抜) A	数量 B	助成事業に要する経費 A × B + 消費税	助成対象経費 A × B	契約先
ABC01-D	・・・・・・	2,000,000	1	2,160,000	2,000,000	(有) ××
GHJ加工機 (リース)	・・・・・・	50,000	12	648,000	600,000	(有) ××
小 計				2,808,000	2,600,000	

※ リース品の場合、単価は月当たりの単価、数量は月数を記入してください

③ 委託・外注費

※ すべてについて「3(5)イ⑥ 改良にかかる委託・外注計画書」に記入してください

(単位：円)

内 容	仕様等	単価 (税抜) A	数量 B	助成事業に要する経費 A × B + 消費税	助成対象経費 A × B	契約先
〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇の改良設計		1,500,000	1	1,620,000	1,500,000	〇×設計 (株)
改良品の〇〇加工 に係る技術指導の 受け入れ	のべ10日	50,000	10	540,000	500,000	(独) 〇〇産 業技術セン ター
改良品に係る〇〇 の試験・評価	〇〇に係る××	200,000	2	432,000	400,000	※※研究セ ンター
合 計				2,592,000	2,400,000	